

日本とヨーロッパの巡礼道の歴史と意味を考える文化ウィーク

日本とヨーロッパの巡礼道の意味を映画、ドキュメンタリー上映、コンサートや舞など文化的観点からみなさんにご紹介します。

主催: インスティトゥ・セルバンテス東京・ポルトガル大使館・アイルランド大使館 特別協力: 熊野本宮大社、和歌山県

5/12 Thu 18:30 — **6/30** Thu 18:30

近藤佳奈写真展 『ULTREIA サンティアゴ巡礼 —それぞれの聖地に向かって—』

オープニング: 5月12日(木) 18:30~ 会期: 6月30日(木)まで
月曜: 10:00~17:00、火・水・木曜: 10:00~20:00、
金・土曜: 10:00~19:00、日曜: 10:00~12:00 入場無料
協力: 富士フィルム株式会社

写真家近藤佳奈が 2018 年、2019 年、2021 年に歩いた「フランス人の道」の写真展。サンティアゴ巡礼は全ての人に開かれており、宗教を問わない事から、現在多くの人々の国際交流の場ともなっています。聖地を目指して歩き続ける人々の想いはそれぞれ、出会いと別れを繰り返す巡礼路で、巡礼者達は自らの人生と向き合い、浄化されていきます。そこには古来より人々が歩き続けた“道”がもつ力が働いているのかもしれない。



5/17 Tue 18:30

『ガリシア文学の日』

ガリシア文学の日を記念し行われる熊野の神楽とガリシア、スペインの古歌コンサート

神楽「熊野」

世界遺産「熊野古道」と「サンティアゴ巡礼道」は姉妹道提携を結んでいます。神楽「熊野」は、遠く険しい熊野古道を歩く参詣者の心を歌い上げ、舞により四方を浄め太陽を迎えることを表現しています。

九鬼家隆(舞)
辻幹雄(11弦ギター)、松尾慧篠(笛)、内藤真代(琴)
平林希世衣(歌)、若本詢加(歌)、佐島麻里阿(歌)

コンサート「古歌巡礼」

中世スペインへ、歌とリュートで時を越え、美しい古歌を訪ねる音楽の旅。

演奏曲:
13世紀スペイン(ガリシア地方)
マルティン・コダックス「カンティガス・デ・アミーゴ」より
アルフォンソ10世編纂 「聖母マリアのカンティガス」より
薔薇の中の薔薇(ワードソロ) / プロローグ「詩(うた)こうと」
／第1番「今日この日から詩(うた)おう」

演奏:
佐藤裕希恵(ソプラノ)
つのだたかし(リュート/ワード)



Photo: Shoji Onuma

5/16 Mon 18:00

映画上映 『ファティマ』

ジョアン・カニージョ監督 /
2017年 / ポルトガル制作 /
153分 / 日本語・英語字幕付

公式サイト:
Midas Filmes
(<http://midas-filmes.pt>)



ファティマとは1917年に聖母が出現したポルトガルの聖地。奇跡が起きた5月13日には世界中から巡礼者が集まり盛大なミサが行われます。このミサに参加するため、ポルトガル北部の村から11人の女性たちが出発、9日400キロの道を踏破します。さまざまな年代の彼女たちは、雨、暑さ、疲労、怪我を越え、時に喧嘩をしながら、それぞれの思いと祈りを胸にひたすら歩きます。

5/18 Wed 18:00

ドキュメンタリー上映 『カミーノの航海』

ドナル・オケイラカル監督 / 2018年 / 97分 /
オリジナル言語: 英語・アイルランド語 (英語字幕付)

作家、2人のミュージシャン、アーティストら乗組員が、アイルランドからスペイン北部まで、伝統的手法で作ったボートで2,500kmの危険な行程を航海します。アカデミーを受賞ミュージシャンのグレン・ハンサード、アイルランドの伝統音楽ミュージシャンのブレンダン・ベグリー、アーティストのリアム・ホールデン、ブレンダン・ファイド・モリアーティ、作家兼詩人のダニー・シーヒー出演。

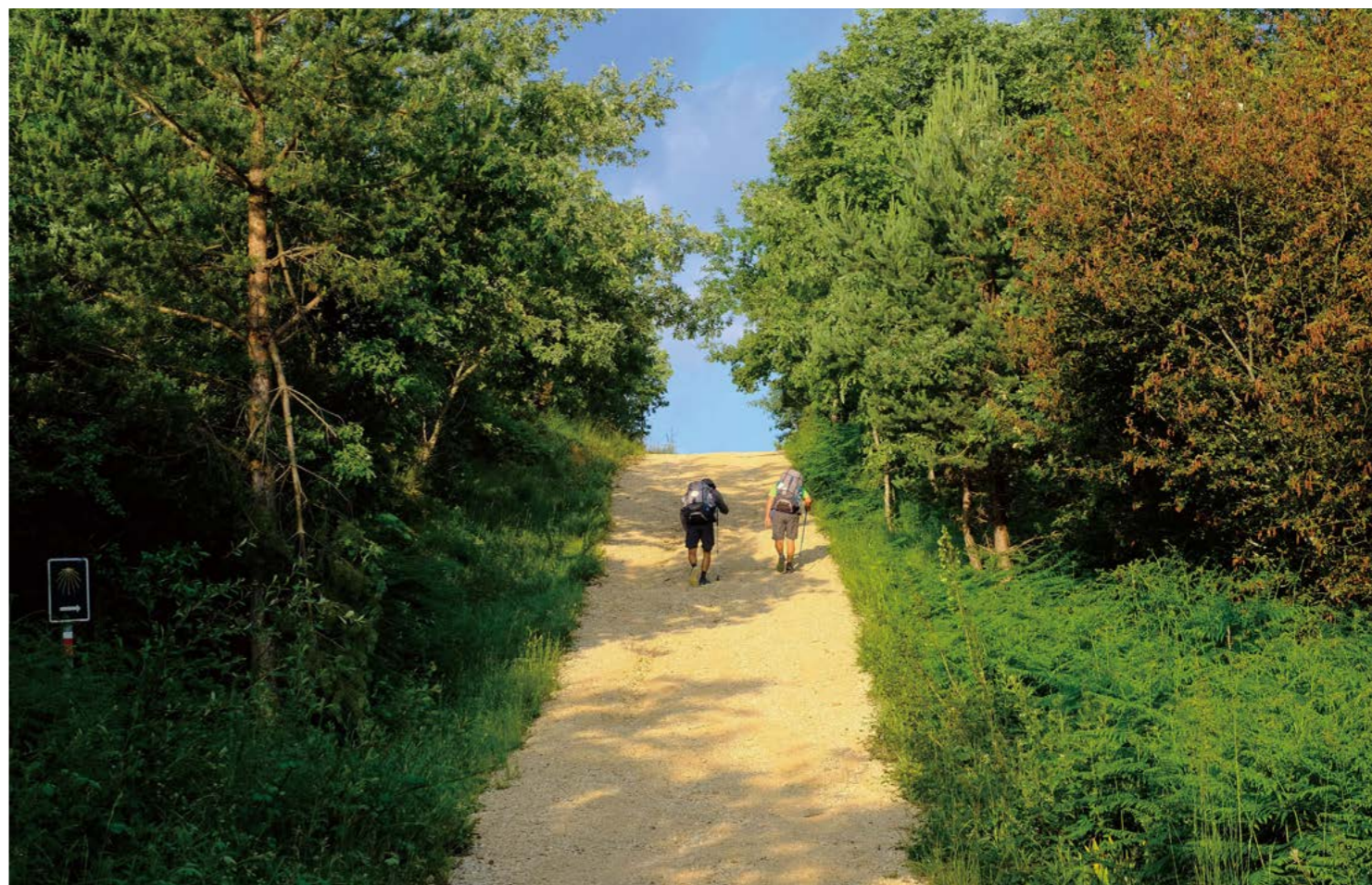


日欧シンポジウム

「日本・ヨーロッパの巡礼道から見る精神性と再生」

Out of the ordinary:
Spirituality, Resilience and Regeneration
along the pilgrimage routes of Europe and Japan

Simposio:
Lo extraordinario: espiritualidad, Resiliencia y Regeneración
en las rutas de peregrinaje de Europa y Japón



© Kana Kondō

DAY 1 2022 **5/19** Thu 18:00-20:30

DAY 2 2022 **5/20** Fri 18:00-20:30

参加費: 無料、要登録

オンライン・現地会場開催。いずれの場合も事前にご登録が必要です。

言語: 日本語・英語・スペイン語 (Zoomを利用した同時通訳システム)

会場: インスティトゥ・セルバンテス東京

〒102-0085 東京都千代田区六番町2-9

<https://tokio.cervantes.es/>

主催: インスティトゥ・セルバンテス東京、ポルトガル大使館、アイルランド大使館

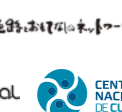
協力: 阿古木隠れキリシタンの里、NPO InVisible、NPO 遍路とおもてなしのネットワーク、和歌山県、一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー

後援: 国際交流基金、Consello da Cultura Galega、ポルトガル政府観光局、ポルトガル国立文化センター、

Department of Housing, Local Government and Heritage Ireland, National Monuments Service



Ambasáid na hÉireann | An tSeapáin
Embassy of Ireland | Japan
駐日アイルランド大使館



オンライン・
オフライン
ハイブリッド
開催

参加費無料
ご予約はこちら



日本そしてヨーロッパにはいくつもの巡礼道が存在します。本シンポジウムは、日本とヨーロッパの巡礼道が歴史の中でどのような役割を果たしてきたのか、また現代においては、どのような形で人と文化や経済の交流の拠点となりうるのかを、日欧各国の識者をお招きし2日間にわたって話し合います。

第1日目の5月19日(木)は、学術的・歴史的な視点から、2日目20日(金)は、巡礼道を通じた草の根交流(アート・持続可能な観光・社会的意義のある活動)を地域コミュニティの観点から考えます。

本シンポジウムを通して、日本、アイルランド、スペイン、ポルトガルの各巡礼道に携わる人々が互いの体験から学びあい、将来の協力関係やネットワークづくりにつながることを願っています。ぜひ近い将来、実際に日欧の巡礼道に足をお運びください。

DAY 1 2022 **5/19** Thu 18:00-20:30

歴史的・宗教的・思想的・経済的な側面をテーマに、各国の巡礼道及び各団体の特徴・独自性を紹介します

18:00 主催者挨拶

18:10 基調講演 胡光氏(愛媛大学教授、世界の巡礼研究センター・センター長)
「世界の巡礼道についての概要・四国遍路を中心に」

18:30 ホセ・ミゲル・アンドラーデ・セルナダス氏
(サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学[スペイン])
「中世の欧州の巡礼と数世紀にわたるJacobean道の発展」

18:45 ルイズ・ニュージェント氏
(考古学者、研究者、ブログ「中世アイルランドの巡礼」管理者)
「聖人の足跡をたどって。中世アイルランドの巡礼道」

19:00 柿森和年氏(阿古木隠れキリシタンの里代表)
「世界文化遺産『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』と巡礼道の必要性とその意義～潜伏キリシタンの集落を巡礼する道」

19:15 マリア・カラード氏(ポルトガル国立文化センター長)
「ポルトガルの聖地、ファティマへの巡礼道」

19:30 北山健一郎氏(NPO遍路とおもてなしのネットワーク常任理事)
「四国遍路の概要とその魅力」

19:45 休憩

19:50 パネルディスカッション
司会:ビクトル・ウガルテ(インスティトゥ・セルバンテス東京館長)
「われわれは過去から何を学び、ポストコロナ時代の社会再生に巡礼道はいかなる役割を果たすのか」

20:15 質疑応答

20:30 シンポジウム1日目の統括



胡光
Hikaru Ebesu



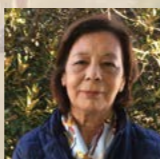
ホセ・ミゲル・アンドラーデ・セルナダス
José Miguel Andrade Cernadas



ルイズ・ニュージェント
Louise Nugent



柿森和年
Kazutoshi Kakimori



マリア・カラード
Maria Calado



北山健一郎
Ken'ichiro Kitayama



ビクトル・ウガルテ
Victor Ugarte

DAY 2 2022 **5/20** Fri 18:00-20:30

参加各国の巡礼道において草の根活動を行う団体から地域コミュニティの再活性化、問題点やその解決法などについてお話しできます。また多角的側面(観光、社会、厚生)から巡礼道の果たす役割とその可能性を考えます。

18:00 司会者挨拶 菊池宏子氏
(NPOインビジブルアーティスト、クリエイティブ・ディレクター)
「MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館」をきっかけに、幅広い視点特に文化・アートの起点からパネルのテーマを探究します。

18:15 イネス・ケイロス氏(ポルトガル政府観光局日本・韓国支部局長)
「ポルトガルの巡礼道」

18:30 松田清宏氏(NPO遍路とおもてなしのネットワーク理事長・在高松スペイン国名誉領事・四国ツーリズム創造機構前理事長)
「四国遍路の歴史的・文化的・現代的意義」

18:45 ジョン・オドワイヤー氏(「アイルランドの巡礼道」創設者)
「巡礼道:農村コミュニティの変革」

19:00 ブラッド・トウル氏(一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー)
「熊野古道:観光を切り口にした草の根レベルの地域再生」

19:15 クリステyna・サンチェス・カレテロ氏
(INCIPIT遺産科学インスティトゥット[スペイン])
「サンティアゴ巡礼道の文化遺産保護活動への市民の参加について」

19:30 休憩

19:35 パネルディスカッション 司会:菊池宏子氏
「日欧の地域コミュニティと巡礼者・観光客との持続可能な関係の構築」

20:05 質疑応答

20:20 シンポジウム全体総括

*プログラムは都合により変更になる場合があります。予めご了承ください

【オフラインの会場】

インスティトゥ・セルバンテス東京
Instituto Cervantes de Tokio
〒102-0085
東京都千代田区六番町2-9 セルバンテスビル
Tel:03-5210-1800
Fax:03-5210-1811
E-mail: infotok@cervantes.es
URL: https://tokio.cervantes.es/

【オンラインでのご参加】

- オンラインシステム Zoom を利用してシンポジウムをライブ配信いたします。
- 参加のご予約後、登録いただいたメールアドレスにオンラインセミナーの情報が自動配信されます。
- オンライン・オフラインともに同 Zoom システム内から日本語・英語・スペイン語のチャンネルを選択してお聞きいただけます。
- アーカイブ配信はインスティトゥ・セルバンテス東京の YouTube サイトにて後日一般公開を予定しています。



菊池宏子
Hiroko Kikuchi



イネス・ケイロス
Inês Queiroz



松田清宏
Kiyohiro Matsuda



ジョン・オドワイヤー
John O'Dwyer



ブラッド・トウル
Brad Towle



クリステyna・サンチェス・カレテロ
Cristina Sánchez-Carretero

